

平成30年9月定例教育委員会 会議録

1. 日 時 平成30年9月20日(木)

開 会 午前 9 時 30 分

閉 会 午前 10 時 30 分

2. 会 場 茅野市役所 702 会議室

3. 出席委員	教育長	山田 利幸	同職務代理人	矢崎 靖雄
	教育委員	濱 勝之	教育委員	小林 俊恵
	教育委員	小平 光子		
	出席者			
	生涯学習部長	平出 信次	こども部長	牛山津人志
	学校教育課長	有賀 淳一	幼児教育課長	五味留美子
	こども課長	五味 健志	生涯学習課長	藤森 隆
	文化財課長	両角 勝元	中央公民館長	矢島喜久雄
	スポーツ健康課長	中村 浩明	教育総務係長	渡辺 雄一
	こども係長	今井 明彦	教育総務主事	牛山 紘貴

4. 傍聽者 3 名

9 月定例教育委員会次第

日 時 平成30年9月20日（木）午前9時30分から

場 所 市役所 702会議室

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 報告事項

第1号 教育長報告

第2号 各課からの報告

（1）学校教育課

（2）こども課

（3）幼児教育課

（4）生涯学習課

（5）公民館

（6）文化財課

（7）スポーツ健康課

第3号 教育委員会共催後援

（1）生涯学習課

（2）スポーツ健康課

4 議 案

（1）中央公民館休館日の変更について

5 検討事項

今回はありません。

6 その他

（1）平成30年度の教育分野行政アドバイザーについて

（2）市議会9月定例会一般質問について

（3）縄文文化賞の授賞について

（4）永明小学校・永明中学校建設検討委員会の提言書について

（5）臨時教育委員会について

（6）教育委員会事務局職員の人事異動について

次回定例教育委員会日程について

10月24日（水）午後1時30分「705会議室」

（事務局会議 10月10日（水）午前9時00分「703会議室」）

7 閉会

教育長

只今から、9月定例教育委員会を開催します。

前月の8月の会議録の確認をします。何かありますか。

全委員

異議なし。

教育長

では、報告事項1に入ります。1日に教育研究集会があり、諏訪教育会と諏訪校長教頭組合と教職員組合の3者組合による教育研究集会でした。約900人が集まり、20以上の分科会に分かれ半日討論しました。その後には古本カフェがあり、子どもたちが主体になって、とてもいい企画でした。ぜひ来年も子どもたちが主体となってやってほしいです。

2日には総合防災訓練がありました。

3日に統計グラフコンクール表彰式があり、低・中・高学年と中学に分かれて表彰式を行いました。かなりレベルの高いものが出来ています。ただ、茅野市の場合は調べ学習があるので、統計グラフはやや数は少なかったです。

4日は宮川小学校の避難訓練があり、宮川小学校にお願いし2つの訓練の内容を出してもらいました。1つは今年度配備していただいた防災ヘルメットで約10秒あれば被れます。有るか無いかでは違いが大きくあると思います。もう1つは実際に大きな地震や地震によって火災が起きた時に消防署と学校の連絡対応の訓練をしました。実際に訓練をするという事で消防署から3名来ていただきました。次回は消防署の指示で避難場所を変えて少し動きを出して行ってみようと思います。

6日にセカンドブックの反省会がありました。また来年度に向けてより良い方法を見つけて作っていききたいと思います。「読り一む in ちの」の方中心に支えていただき、それによってその時出会った本がこれからの子ども達の将来を決めていくといってもいいのではないかなと思います。その後に奨学金審査会がありました。

9日には縄文マラソンがありました。今年の縄文マラソンは小中学生の参加がとても増えました。また、開会式の雰囲気去年と比べてとても明るい雰囲気で行われました。

10日に茅野市長杯バレーボール大会があり、ママさんバレーが中心となって19団体が参加しました。2か月間にわたって試合を行います。

13日に縄文祭りの最終実行委員会がありました。いよいよ縄文祭りに向かって具体的なスタートをしていきます。各企画の感想ですが、子ども中心に組んでくださっていました。

15日は保育園の運動会でしたが雨で順延となりました。

17日に発達障害児の理解と支援講演会では信州大学の本田先生が見えられて福祉21と茅野・原地区の医師会が中心となって講演をしていただきました。

その後に鶴田真由さん、小林紀晴さんの写真展トークがありました。非常に格調の高いトークや会場いっぱいに年配の方中心に集まっており、文化水準の高さも窺えました。

18日に縄文文化賞受賞答申がありました。

19日に永明小中学校建設委員会の答申がありました。新聞に報道されている通りです。

20日の本日は定例教育委員会と文化財審議会では祖霊桜についてと東部中学校の花ロード報告会があります。

21日に縄文プロジェクト実行委員会があります。

22日に小学校運動会があります。

24日に森田先生が来訪になります。

25日に森田先生行政アドバイザー委嘱式と教育委員会の職員に午前と午後に分かれてレクチャーと講演会をしてくれます。

26日から28日は主幹主事訪問が続きますがよろしくお願いします。

29日に宮川保育園他、8保育園の運動会です。また、諏訪養祭とユネスコ総会があります。

30日は茅野市長杯バスケットボール大会があり、中学生の新人戦となります。

報告は以上となります。

次に報告事項第2号、各課から10月の行事予定について報告をお願いします。

[各課から10月行事予定について報告]

資料（報告2号）

教育長

次に報告事項第3号、教育委員会共催・後援についてお願いします。

[生涯学習課、スポーツ健康課から教育委員会共催・後援について報告]

資料（報告3号）

教育長

報告事項について何かありますか。ないようですので次に移ります。

議案第1号「中央公民館休館日の変更について」お願いいたします。

生涯学習課長

議案1号の資料をご覧ください。中央公民館休館日の変更という事で茅野市芸術祭が10月20日から24日の間で行われます。茅野市公民館の管理規則第8条の関係で中央公民館の休館日は毎月第3日曜日としています。ただし臨時に必要となる場合、教育委員会

の承認を経て変更できるとなっています。１０月２１日が該当しますので、この日は休館日としないという事で承認をいただきたいと思います。

教育長

ご承認いただけますでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

ありがとうございました。

検討事項は今回ありませんので、続いてその他１「平成３０年度の教育分野行政アドバイザーについて」をお願いします。

学校教育課長

教育分野行政アドバイザーについてその他１の資料をご覧ください。

行政アドバイザーとして本年度新たに森田洋司先生を委嘱することとなりました。森田先生については文学博士でもあります。社会学者でもあります。人間関係作りがメインのテーマとなります。従いまして現在茅野市で取り組んでいるコミュニティースクールを核とした取り組みについて生涯学習部、こども部、コミュニティーセンター、ゆいわーく等を含めてアドバイスをいただいていく形となります。委託の期間になりますが、本年の９月１日から２０２０年の３月３１日までとなります。プロフィールは資料に記載の通りとなります。現在は大阪樟蔭女子大学を退任なさっていますが、名古屋大学の名誉教授等をされています。裏面をご覧ください。学会の活動等、社会活動歴、著書等があります。その中でも学習指導要領の改定等にも関わっていた経験があります。本年の最初の講演ですが、９月２５日に予定をしています。１０時から１１時３０分までと１３時３０分から１５時までの２回あります。対象はこども部、生涯学習部、コミュニティースクール、ゆいわーくの職員が対象になります。会場は８階の大ホールになりますので、時間がありましたら教育委員さん方も是非お聞きいただければと思います。

教育長

茅野市の１０年後の福祉・教育について意欲的に一緒に考えてくださっています。

続いてその他２「市議会９月定例会一般質問について」をお願いします。

こども部長

その他2の資料をご覧ください。はじめに北沢千登勢議員よりこども部の関係について学童クラブの設備及び運営と指導員の働き方について4項目の質問をいただきました。

1点目が利用する児童数に応じたスペースが確保されているかについてです。児童1人当たり1.65㎡が基準であるが、永明、宮川、玉川小では、基準を下回っている。今後、学校の空き教室、併用できる教室の利用、又はプレハブの建設等、最善の方策を考え増設すると回答しました。

2点目が学童クラブで使用する教室へのエアコン設置についてです。学童クラブへは来年夏前までにエアコンを配備します。学校は、19年に方式等の調査検討を実施、20年度に導入すると回答しました。

3点目が保護者の実態に即した指導員の勤務時間の見直しについてです。通常期は14:15～18:30、夏休みは8:00～18:30を2交代勤務です。今後は、勤務終了時間を18:45、休校時の勤務開始を7:45とし、シフト勤務を検討すると回答しました。

4点目が指導員の賃金体系の見直しについてです。賃金額は、臨時職員の任用基準に基づき決定（保育士、栄養士と同額）しています。臨時的任用のため経験年数に応じた賃金体制ではありません。20年から始まる会計年度任用職員制度に合わせて処遇改善を実施する予定と回答しました。

北沢千登勢議員については以上となります。

生涯学習部長

続いて、矢島正恒議員になります。市民のスポーツ振興と2027年第82回国民体育大会（長野県開催）等について3項目の質問をいただきました。

1点目が市民スポーツ推進計画に基づく生涯スポーツの推進についてです。スポーツ推進計画では、「地域における子どものスポーツ機会の充実」、「ライフステージに応じたスポーツ活動の推進」、「市民が主体的に参画するスポーツ環境の整備」、「競技力向上に向けた体制強化・指導者養成の推進」、「スポーツの果たす役割の活用」の5つの基本目標を掲げています。その中でも体育施設整備事業と親子で運動推進事業の二つの事業に、特に力を入れています。幼児期から全身と五感を使った自然の遊びを通して、子どもたちの体力向上を図ることを目的に親子での運動を推進しています。スポーツ推進計画の基本理念である「すべての市民が豊かなスポーツライフで生涯を楽しく健康に生きる」ことを実現するため、生涯スポーツの推進を図っていくと回答しました。

2点目が2027年第82回国民体育大会の茅野市開催種目についてです。県ではスポーツ課内に国体準備室を設け、開催に向けて関係団体による準備委員会を設立し、大会開催基本方針の策定や競技会場の選定など開催に向けた準備作業を進めています。当市は、開催希望種目として、前回開催時の競技種目であった「軟式野球」を第1希望、今年度大

規模改修を行う庭球場を利用する「ソフトテニス」を第2希望、市内に大会開催の競技施設基準を満たしている施設がある「ゴルフ」を第3希望として提出したと回答しました。

3点目が市民の健康増進を図る身近な運動習慣の推進についてです。市では、高齢者の運動習慣の定着や介護予防、認知症予防を主な目的として、「地区運動教室」、通称「脚腰おたっしや教室事業」や「健康熟年大学事業」、「いきいき健幸ルーム事業」を実施しています。運動に関係する事業・講座には、多くの方に参加をいただいています。このことの背景としては、いつまでも元気に生活ができるよう運動習慣をつくること、要介護状態となることや認知症を予防しようとする方が多いと推測されます。また、新年度に向け、さらに多くの方々にご参加いただけるよう、利用者のご意見もお聞きし、新たな開催場所の確保や実施回数を増やすことなどを視野に入れながら、高齢者の皆さんの健康増進に資する取組を進めていくと回答をしました。

こども部長

続いて伊藤玲子議員より幼・保・小・中学校における暑さ対策についてです。4項目の質問をいただきました。

1点目がこの夏の保育環境や学習環境について、保育園の状況は、7/24～8/9までの保育室の温度は、連日28℃を超えました。また、学校でも7月以降は全教室で28℃を超えたと回答をしました。

2点目が現在行っている暑さ対策についてです。保育園は、扇風機、打ち水、葦簀、午睡前にシャワーを浴びる等を実施しました。学校は、扇風機、葦簀の購入等や校外活・プールや部活動の中止や自粛、水分補給の指導を実施したと回答をしました。

3点目が今後実施予定の暑さ対策についてです。保育園は、一部園で行ったミストシャワーによる対策を各園に広げます。学校は、校外活動、部活動の練習時間の見直し、登下校時の対策を実施すると回答をしました。

4点目が保育室・教室へのエアコン設置についてです。保育園、学童クラブは、来年6月までの冷房設備の設置を検討します。学校は、来年度に整備方針の決定、再来年度に冷房設備の設置を検討すると回答をしました。

生涯学習部長

続いて松山孝志議員より茅野市運動公園の個別施設における課題と維持管理計画について6項目の質問をいただきました。

1点目が陸上競技場のインフィールドにおける芝生管理についてです。陸上競技場のインフィールドの芝生管理は、年に芝刈り7回、肥料散布4回、除草剤散布2回、殺菌剤布2回などを業者委託により実施しています。傷んでしまった部分は、養生期間を設け回復を待ちますが、芝生の根まで傷むと生育できないため、張替えを行う必要があります。今後は、張替え用の芝の確保や、生育期の水やりなど、こまめに管理しながら、できるだ

け費用をかけずに維持管理に努めていきたいと回答をしました。

2 点目が自由広場の夜間照明設置についてです。自由広場は、市民の方が使用する場合、使用料が無料となっています。誰もが利用できる多目的広場として使用され、各種大会会場としても利用されています。自由広場に新たに照明を設置すると、隣接する広場野球場と合わせ、周辺が非常に明るくなり近隣住民からの苦情も考えられます。また、自由広場の利用者からは、夜間利用を希望する声は届いていません。現時点では、夜間照明設備の設置は計画していないと回答しました。

3 点目がこどもの遊び場の活用促進のための整備についてです。こどもの遊び場周辺は、木々に囲まれ、静かで涼しく、日差しを気にせず遊べる場所となっています。平日の昼間は親子で遊んでいる姿などをよく見かけます。遊具については、設置から年数が経過して危険なものは、必要に応じ更新しています。新たな遊具の追加設置は考えていません。公園開設当時と比べ、周辺の木々が大きく成長したこともあり、枝が遊具に覆いかぶさるような場所も出てきています。樹木の手入れや草刈りなどの管理を行うとともに、遊具の安全点検を実施し、子どもたちが遊びやすい環境を整えていくと回答をしました。

4 点目がジャブジャブ池の周辺を含めた整備についてです。ジャブジャブ池周辺は、マレットゴルフ場やこどもの遊び場などがあり、市民の憩いの場として、自然環境にも配慮した維持管理を行ってきました。現在の自然的な環境を活かし、ビオトープとして環境整備をしていきたいと考えています。今後は堆積した土砂の撤去やヨシの除去を行い、水に親しみ、豊かな自然を感じられる場所として活用していくと回答をしました。

5 点目が運動公園内に設置されているトイレの美化管理方法についてです。運動公園内のトイレは施設内を含め 15 カ所あります。総合体育館は体育館受付業務と併せて業務委託者に、国際スケートセンター・ゴルフ練習場及びプールは指定管理者に、バッティングセンターは業務委託者に、それ以外の外部施設のトイレは一括して委託業者がトイレの清掃を行っています。外部施設のトイレ清掃は週 6 日行い、実施日には清掃、トイレトペーパーの補充、見回りを行うなど、きれいな状態で使用できるように努めています。現在、洋式トイレのない施設では、計画的に和式トイレの一部洋式化を進めています。今後、建築から年数が経過している施設のトイレについては、大規模改修時に改修を検討していくと回答しました。

6 点目が運動公園全体の維持管理計画についてです。担当課では、平成 28 年に今後 10 年間を見据えた体育施設改修工事計画を作成しました。現在は、この計画に基づき、毎年、予算要求を行い、工事を実施しています。大きな事業としては、本年度の庭球場大規模改修工事、2022 年度に総合体育館の床改修、2026 年度に野球場の大規模改修を計画しています。今後策定される公共施設再編計画の結果を踏まえ、計画の見直しを行い、運動公園施設の維持管理、長寿命化を行っていくと回答をしました。

こども部長

続いて長田近夫議員から小・中学校、運動公園等における防犯カメラの設置について3項目の質問をいただきました。

1点目が防犯カメラの設置状況についてです。公共施設は、市役所1台、外部施設23か所に124台が設置されています。小中学校は、長峰中のみに設置されています。(職員室2Fで来校者を確認できないため)運動公園には、設置されていないと回答しました。

2点目が運動公園、学校周辺の外灯についてです。運動公園の外灯は96ヶ所です。外灯の増設は考えていませんが、順次LEDに交換予定。小中学校は、173ヶ所設置済。学校周辺は76ヶ所設置済みであり、順次LEDに交換予定と回答をしました。

3点目が運動公園、学校周辺の防犯カメラの設置についてです。運動公園は、外灯があり比較的明るい状況が保たれています。また、保護者同伴のため、設置は、場所や状況を判断するなかで考えていく。学校は教職員がいるため、校内巡視を実施、施錠しているため設置は考えていません。建て替えやリノベーションに合わせてプライバシーを配慮して検討します。子どもの安全面からは、通学路への防犯カメラの設置を検討する予定です。ただし、設置目的の明確化や運用方法の検討も必要と回答をしました。

続いて両角秀喜議員から地域の子育て支援のあり方について3項目の質問をいただきました。

1点目が子ども会育成会の活動についてです。10地区と90の区・自治会に組織があり協議会を結成し、子どもが主役の子ども会を目指して活動しています。活動を推進するためにリーダースクラブの運営などを行ない、活動支援として、補助金を交付して支援していると回答をしました。

2点目が学童クラブの取り組みについてです。先程の北沢千登勢議員の質問と重複しているという事で説明は省略をさせていただきます。

3点目が今後の地域の子育て支援についてです。どんぐりプランに基づき地域みんなで子どものいる家庭を支援応援してきました。共働き世帯の増加等により子どもの外遊びの減少が課題であり育成会の活動や子どもの居場所づくりの必要性が指摘されているため、補助金制度を創設し支援を行います。小1プロブレムについては幼保小連携、9歳の壁については小中一貫教育の推進で対応すると回答をしました。

続いて両角秀喜議員から二つ目の質問として保育園への防災頭巾配布の取り組みについて2項目の質問をいただきました。

1点目が防災頭巾の配布先を公立保育園に限定したことについてです。Jアラートを契機として、頭を保護する安全対策が必要となったため、防災頭巾を購入しました。公立保育園の安全確保のため保育園の設置者の責務として購入したと回答をしました。

2点目が「子どもの命を守る」という面から公平性をどう立証するかについてです。私立園では、2園が購入済み、2園が座布団で頭部を守るといった対応をすることが分かりました。

未購入の園では、本年度から補助制度を活用し計画的に導入します。今後は、市が新たに始める事業は、事業者と連絡を取り合うこととし、保護者が不安感や不公平感を持たないように努めると回答をしました。

続いて伊藤勝議員から学校給食等に関わる食育と労務管理について5項目の質問をいただきました。

1点目が食育の取り組みについてです。元気もりもりプランに基づき取り組んでいると回答をしました。

2点目が調理員の現状についてです。食数とアレルギー数に応じて会社と協議して配置人数を決定しています。調理員の配置は、国基準を上回って配置し、調理員数は、保育園67名、小学校37名、中学校21名の配置をお願いしていると回答をしました。

3点目の栄養士の待遇についてと4点目の栄養士、調理員の処遇についてです。どのように改善を図るのかについてです。栄養士は、20年から会計年度任用職員制度に合わせて処遇改善を行う予定です。調理員は総合サービス株式会社で雇用しています。直近で賃金改定を実施済みであると回答をしました。

5点目が地産地消についてです。地場産団体の協力を得て地元野菜を購入し、年に1度、市と団体の代表者が協議の場を設けていると回答をしました。伊藤議員については以上になります。

生涯学習部長

続いて樋口敏之議員からグローバル時代に対応した行政の考え方について2項目の質問をいただきました。

1点目が経済・文化・教育などのグローバル化の考え方についてです。経済分野では、姉妹都市交流を進めてきたロングモント市との交流において、昨年5月に、現地の中小企業者や商工会議所などの経済団体と懇談を行ってきました。その際に、諏訪東京理科大学との連携を探るため、ワイオミング州まで足を延ばし、ララミー市のワイオミング大学を訪問し、学長、学部長らとの意見交換を行ってきました。今年5月には、公立諏訪東京理科大学とワイオミング大学との間で「学術交流に関する連携協定」を締結しました。工業の分野では、これまでも輸出入等の海外取引や、現地法人設置などによる海外進出などが行われています。観光面では、インバウンド事業に力を注いでいます。長野県観光部の事業計画に同調し、諏訪地方観光連盟のインバウンド戦略部会において、広域的に事業を展開しています。教育分野については、文部科学省がグローバル化と教育の関係として次の3点を挙げています。1. 基礎的・基本的な知識・技能の習得やそれらを活用して課題を見だし、解決するための思考力・判断力・表現力等が必要である。学校教育はそのための重要な基盤づくりであること。2. 異文化を背景に持つ者や自然と共に生きることができる寛容な精神を涵養すること。3. 自らの国や地域の伝統や文化についての理解を深め、尊重する態度を身に付けること。茅野市の小中学校では、ICT技術やプログラミング的思考

を養う I C T 教育、故郷の特徴や縄文人の生活等について学ぶ縄文科、外国籍市民の方への理解と人権について学ぶ福祉人権教育、これらもグローバル化とは深いつながりがある教育活動といえます。国際交流の観点では、教育委員会では、ロングモント市・茅野市ホームステイ交流事業、中学生台湾交流事業を実施しています。英語教育については、昨年、台湾から英語教育推進アドバイザーを招き、小学校 5、6 年生の授業で、担任とチームティーチングをしていただきました。本年は、英語の指導主事による学校の先生への指導や研修、また、A L T も交えた英語のみを使った小学生対象のイングリッシュサマーキャンプも実施しました。秋には小学生を対象としたイングリッシュスピーチコンテストの実施も予定しています。グローバル化の流れは、経済・文化・教育など社会の様々な場面に広がっています。グローバル化へ対応する取組は、今後、ますます重要性を増していくと考えると回答をしました。

2 点目が来訪する要人の受け入れ体制についてです。外国の要人を含めて、茅野市を公的に訪問する場合、事前に何かしらのアポイントメントをとるはずで、何を目的に茅野市を訪問するのか確認し、しかるべき部署が主担当となり、必要と思われる関係課や関係団体と連携し、訪問の目的が達成できる受け入れ態勢を整備していくと回答をしました。

樋口敏之議員については以上となります。

こども部長

続いて伊藤正陽議員から子育て支援の拡充について 4 項目の質問をいただきました。尚、こちらの質問は福祉分野の質問が主となっていましたので、教育委員会については（3）と（4）についてご説明します。（3）については、昨年度、インフルエンザ罹患で休園又は学級閉鎖した小中学校の実態はどうかについて、小学校は、113 クラス中、46 クラスが閉鎖 率では 40.7%です。中学校は、51 クラス中、5 クラスが閉鎖、率では 9.8%です。保育園は、19 園中、休園が 13 園、クラス閉鎖 2 園であると回答をしました。

（4）については子どものいる家庭へのインフルエンザワクチン接種の補助制度の考え方についてです。過去には、集団予防接種であった子どものインフルエンザ予防接種は、重篤な副反応や流行を抑止するデータが十分でないとの理由で取りやめとなり、任意接種となった経過があります。助成制度は、国の状況を踏まえて更なる研究をしたいと回答をしました。

続いて望月克治議員より 5 項目の質問をいただきました。

1 点目が子ども憲章の取り組みについてです。こども条例では、「子どもの権利と利益を尊重して、学習・体験等を通じて人格の形成に取り組むこと」を基本理念の一つに掲げている。条例に基づいたどんぐりプランの基づき、子どもの育ちの視点に立って進めている。どんぐりプランは、夢のある子どもの育成を施策で掲げ憲章と同じ目的である。ぼくらの未来プロジェクトで策定の機運ができれば制定したいと回答をしました。

2 点目が子ども議会を行うことについてです。こども憲章と同様に、実施の機運が高まれば考えると回答をしました。

3 点目が、今年度から小学校で、来年度から中学校で特別の教科として実施される道徳について、市では、H28 から「心の教育」という名称で位置づけ、「励ます個人内評価」として記述による評価としています。教育委員会では、「心のよつばのクローバープラン」を茅野市教育の中に位置づけ、よつばの一つの葉に道徳教育を位置づけ、こどもの心情を大切に、自らが考える道徳教育を研究しています。先生が道徳科の特質を踏まえた質の高い指導ができるよう研修の情報提供や副教材の検討をしていくと回答をしました。

4 点目が、子どもの学ぶ権利についてです。主に学習環境の整備の観点からエアコン設置についてのご質問でした。学校のエアコン設置については、来年度設置方法等を検討、再来年度の設置に向けて検討すると回答をしました。

5 点目が、子どもの遊ぶ権利についてです。保育園では、遊びの環境を設定し、自己肯定感等を育てている。小学校では、遊びと体験学習を大切にしていると回答をしました。

教育長

質問等ありませんか。続いてその他 3 「縄文文化賞の受賞について」お願いします。

文化財課長

選考委員会が 8 月 24 日に市長の諮問のもと、実施されました。9 月 18 日に市長に答申した経過となります。第 19 回の受賞者は西野雅人さんです。選考については、小林達雄先生、以下資料の通り 6 名で選考をさせていただきました。選考の理由ですが、今回の審査の対象になった方は個人の 13 件でした。受賞者の西野さんについては、縄文研究では重要な貝塚調査を多数手がけ、膨大なデータをまとめ、分析し、縄文時代の生業や食の内容解明を進めてきました。2005 年には千葉県内の若手縄文研究者の研究組織「千葉縄文研究会」を立ち上げ、その主力メンバーとして活躍しています。さらに、自身が積み重ねてきた研究成果を踏まえて、学史上名高い加曽利貝塚の総括報告書の刊行に尽力し、加曽利貝塚の特別史跡指定に大きく貢献したことも、特筆に値します。

授賞式ですが、縄文祭りと合わせて、10 月 6 日の土曜日に午前 10 時 30 分から尖石縄文考古館ガイダンスルームで行います。以上が市長に答申をした内容となります。

教育長

ありがとうございました。続いて、その他 4 「永明小学校・永明中学校建設検討委員会の提言書について」お願いします。

学校教育課長

その他4の資料をご覧ください。永明小中学校については、昨年策定した第1次茅野市小中学校管理計画の中で建て替えの方針が打ち出されました。それに基づいて本年度から建設の検討委員会を設けて、その中で検討を進めてきています。今回、建設検討委員会の中でお願いしたものは2点あります。1つは永明小学校・永明中学校を中心とした周辺の整備、道路等について、もう1つは周辺公共施設等との関連性をどのようにしていくのかの2点になります。それに伴いまして提言書が提出されましたのでご報告いたします。

建設検討委員会は、5月29日に立ち上がり、9月7日まで5回の委員会と3回の幹事会を行いました。昨日の9月19日に委員長、副委員長により市長に提言書の提出が成されたところになります。

続いて提言書の内容について説明させていただきます。内容に入る前に永明小中学校の整備案のイメージという事で、市から3つの案を示させていただきました。1つは道路拡幅案、2つ目は学校用地を活用した整備案、3つ目が面整備案を基に検討していただくことにしました。それぞれについてメリット、デメリット等を検討していただき、それにより提言をしてもらいました。

永明小学校・永明中学校を中心とした周辺整備という事で、まず検討案1の現道拡幅案ですが、現道拡幅の為周辺への影響は少なく、早期の学校建築着手が可能となると思われます。小中学校敷地が道路により分断されてしまい、小中一体的な整備という観点では支障があると思われます。また、道路拡幅により通過交通やスピードを出す車が増え、児童生徒の安全を保つことが出来なくなる可能性があります。

続いて検討案2の学校用地を利用した道路整備案です。道路東側に一体的な小中学校敷地を確保でき、また、ちの地区センター等の周辺公共施設へのアクセスが向上します。茅野駅、茅野市民館方面から小中学校へのアクセスが向上するなどのメリットがあり、実現性の高い案と考えられます。デメリットは道路によって小中学校と周辺公共施設等が分断されてしまう事が考えられます。デメリット解消の為、検討案2の発展型として小中学校敷地及び周辺公共施設を取り巻く周遊道路を作ることにより、小中学校の敷地及び周辺公共施設が一体化され、学園都市としての整備が期待できます。検討案2の発展型の資料をご覧ください。これは検討委員会の皆様が考えたものになります。特に学校敷地と民間の敷地を意識せずに書いていますが、イメージとしてはこのようなイメージでどうだろうかという意見が出されています。また、検討案3の面整備についてですが、理想的な町作りが可能となる案ですが、事業に係る手続きや関係者の同意を取る事など事業の着手まで時間を要すること、事業に掛かる経費が大きくなることなどが事業実施の妨げになると思われます。また、駅前から国道へ抜ける幹線道路については小中学校の整備と切り離して計画を進める必要があると思われます。道路整備については検討案2を基にして、さらなる検討が必要ではないかという提言となっています。

周辺公共施設との関係については、ちの地区コミュニティーセンター・家庭教育センターとの関連性ですが、いずれも駐車場不足が課題となっています。小中学校用の駐車場と一体的な駐車場の整備を望むこと。小中学校との繋がり悪さがあることから、小中学校との連携が取れるような工夫が必要なこと。小中学校内への機能の移転も視野に入れ、建物を取り壊し小中学校建替え用地とすることも考えられるという事です。

錬成館については、施設は昭和52年に建築され、建築後40年以上経過し、耐震性も無いことから、錬成館機能を新設小中学校の体育館や総合体育館へ移転することの検討が必要と思われます。

ちの保育園については、小中学校との連携を考えた小中学校の施設配置や、道路配置の検討、また、ソフト面での連携方法を検討する必要があると思われます。また、災害等を見据えた安全面の配慮を望みますという事の提言がなされました。

この提言に基づき、新たな検討をしていくとともに、計画の策定委員会を設け、その中で実際の建物のありかたや道路についてもその中で考えていく形でいます。10月末くらいに策定委員会が立ちあがっていく予定となっています。

提言書については以上となります。

教育長

ありがとうございました。質問等ありますか。

続いてその他5「臨時教育委員会について」お願いします。

学校教育課長

臨時教育委員会についてですが、10月1日の8時40分から704会議室で開催します。短時間での自己紹介等になります。よろしくお願いいたします。

教育長

ありがとうございました。

続いてその他6「教育委員会事務局職員の人事異動について」お願いします。

生涯学習部長

10月1日付で異動があります、田中啓吾主査と北原啓司主査についてとなります。田中啓吾主査については市民環境部市民活動センター市民活動推進係へ異動となります。北原啓司主査については教育委員会事務局生涯学習部生涯学習課文化芸術係へと異動となります。

教育長

ありがとうございました。事務局から連絡をお願いします。

教育総務係長

次回定例教育委員会日程についてお願いします。

10月10日（水）午前9時より703会議室にて、事務局会議を行います。

10月24日（水）午後1時30分より705会議室にて定例教育委員会を行います。

よろしくお願いします。

教育長

ありがとうございました。以上で9月定例教育委員会を閉会します。

茅野市教育委員会会議規則第19条第2項の規定によりここに署名する。

平成30年10月24日

茅野市教育委員会 教 育 長

同職務者代理

委 員

委 員

委 員

こども部長